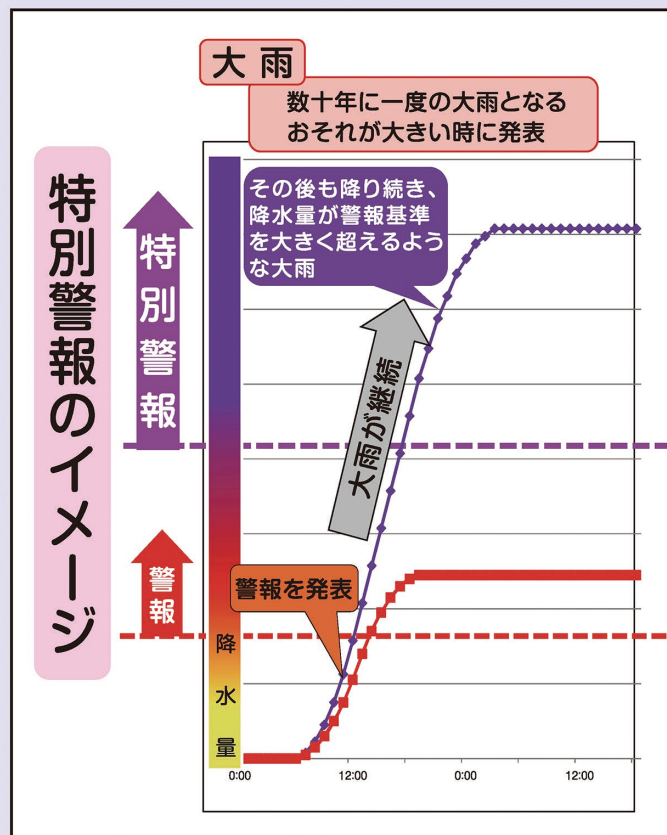


● 特別警報とは

気象庁は、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに地元市町村の避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。



特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

★雨の強さと降り方に注意して、早めの避難を心がけましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mm ザーザーと降り、地面一面に水たまりが出来る程度の雨 長く続くときは、注意が必要	1時間に20～30mm どしゃ降り、傘をさしていてもぬれてしまう程度の雨 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。	1時間に30～50mm バケツをひっくり返したような雨 道路が川のようになり、がけ崩れや山崩れが発生しやすくなります。	1時間に50～80mm 滝のように降り、傘が全く役に立たなく、先が見えない雨 マンホールから水が噴出したり、土石流などの災害が発生する可能性が高くなります。	1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感があるような雨 雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。